

# 変形菌（粘菌）を 観察しよう



変形菌（粘菌）は一生の間に、アメーバになったり、キノコのようにもなったりする不思議な生き物です。アメーバとして動物のようにも動くし、子実体と呼ばれる高さ数ミリのキノコのようなものも作ります。フィールドに出かけて、色とりどりの面白い形をした子実体を探して持ち帰り、よく観察して、標本を作りましょう。

- 日時** 9月7日（土）13：30～16：00  
**会場** 上田市マルチメディア情報センター  
**対象** 興味のある方ならどなたでも（小学校3年生以下は保護者同伴）  
**料金** 300円（ドリンク代込み）  
**定員** 先着20名（先着）※お電話（0268-39-1000）でお申込みください  
**指導** 出川 洋介 先生（筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所 准教授）  
**持ち物** マッチ箱またはキャラメル箱、菓子箱

出川 洋介 先生 略歴

1968年生まれ。筑波大学生命環境系 助教。筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所。研究分野は菌学、菌類（カビ、キノコ、コウボ）を対象とした生物多様性・分類、自然史など。研究テーマに『生きる化石「接合菌類」の多様性から読み解く菌類の陸上進出と繁栄』ほか。2005年日本菌学会 菌学奨励賞を受賞。日本菌学会、日本変形菌研究会、日本地衣学会等所属。

